

平成30年2月9日

各位

会社名 価値開発株式会社
 代表者名 代表取締役社長 高倉 茂
 (コード番号 3010 東証第2部)
 問合せ先 取締役管理本部長 秋山 耕一
 (TEL:03-5822-3010)

通期の連結業績予想の修正に関するお知らせ

平成29年11月10日に公表いたしました平成30年3月期通期(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)の連結業績予想を修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

平成30年3月期通期の連結業績予想の修正(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(金額の単位：百万円)	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想値 (A) (平成29年11月10日発表)	5,000	70	30	10	0円75銭
今回修正予想値 (B)	4,800	△200	△350	△400	△29円83銭
増減額 (B-A)	△200	△270	△380	△410	—
増減率 (%)	△4.0%	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成29年3月期連結会計年度)	5,663	434	662	48	3円55銭

(注) 平成28年10月1日を効力発生日として、普通株式について10株を1株とする株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、「1株当たり当期純利益」を算定しております。

2. 修正の理由

当社グループは、ホテル事業をメイン事業として行っております。売上高は、都市型ビジネスホテル『ベストウェスタン』の業績が当初の計画通りに推移する一方で、東北地方に展開しております中長期滞在型ホテル『バリュー・ザ・ホテル』の主要な宿泊者である震災復興関連事業従事者の宿泊需要が『働き方改革』などにより週末の宿泊数が減少したことなどにより下半期不調となったことや本年度下半期にオープンした一部ホテルの開業時期が当初の計画より遅れたことなどにより計画を下回る予想に修正しました。営業利益は、新規ホテルのオープンに係る設備等の費用計上や社会的に深刻な人材不足の影響などにより人員確保のための採用コスト、人件費等が増加したことなどにより計画を下回る予想に修正しました。経常利益は、新規ホテルの開業準備資金に係るシンジケートローン契約の締結や『バリュー・ザ・ホテル仙台名取』の信託受益権の取得などにより借入金が増加したことに伴う支払利息の増加などにより計画を下回る予想に修正しました。親会社に帰属する当期純利益は、法人税等の計上などについて不確定な要素がありますので、保守的な予想に修正しました。

(注) 本資料に記載されている業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、さまざまな不確定要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想と異なる場合がございます。

以上